

ウラジオストク滞在に関する報告について（7月分）

1. ウラジオストク国立経済サービス大学（ブグェス）での授業について

7月1日（木）、2日（金）には定期試験が行われました。内容は Т Р К И (ロシア語検定試験) を模したものでした。

7月3日（土）からは約2カ月間の夏休み期間に入ります。

2. 国内観光（ハバロフスク市）について

ウラジオストク市からシベリア鉄道に乗りハバロフスク市に向かい、同地で2日間滞在しました。乗車した車両は2等車で、個室ではありますが、他の3人の乗客と相部屋になります。ハバロフスクに到着するまで約12時間この空間で過ごすことになります。



(写真1 2等車の様子 隣の乗客は過ごしやすい格好をしている)

ハバロフスク市はロシア極東部では最大の都市で、面するアムール川が中国との国境となっています。雄大ですが、かなり濁っています。



(写真2 アムール川の様子)

ウラジオストク駅から川岸に向かう道中や、市中心部のレーニン広場の近くには、広い公園が、川岸にも自動車専用道路や広い歩道が整備されており、のんびり過ごす場所に困らない、綺麗で住みやすい街だと感じました。



(写真3 市中心部の様子)



(写真4 約100年前に日本人が建築。現在は1階がハンバーガーショップに)

3. ウラジオストク市内の状況について

・治安状況

今月、当地で日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありません。

(参考) 沿海地方の新型コロナウイルス感染状況 (8月3日)

累計感染者数	55,078人	累計死者数	903人
1日の感染者数	257人	1日の死者数	6人

・気候

7月のウラジオストクは多くの日で猛烈な暑さに見舞われ、7月23日には53年ぶりに最高気温が更新されました(31.4℃→33.1℃)。そのため、ビーチではほぼ毎日水浴びを楽しむ市民の姿が見受けられました。



(写真5 水浴びを楽しむ市民の様子)